

第237回

柏崎しんぎん地区内経済指標

(平成27年12月)

 柏崎しんぎん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,448	-0.69	-0.12	4,212	0.64	0.00
東部地区	14,206	-0.36	-0.11	5,771	0.54	-0.19
西部地区	10,287	-1.02	-0.06	4,040	-0.22	0.07
駅南地区	6,306	-0.20	0.04	2,843	1.35	0.17
半田地区	3,702	-0.08	-0.05	1,422	1.57	0.07
横山地区	5,458	-0.78	-0.07	1,981	1.64	0.00
茨目・田尻地区	7,167	1.17	0.04	2,583	2.37	0.00
荒浜地区	4,846	-1.32	-0.06	1,999	0.20	0.05
その他地区	18,564	-2.52	-0.18	7,019	-0.67	-0.02
西山町地区	5,754	-2.72	-0.36	2,095	-1.31	-0.28
高柳町地区	1,549	-4.67	-0.51	747	-3.23	0.00
柏崎市計	87,287	-1.11	-0.11	34,712	0.30	-0.02
刈羽村	4,756	-0.50	0.06	1,581	0.38	0.25
小国地区(長岡市)	5,637	-2.44	-0.05	2,107	-0.23	0.19
出雲崎町	4,677	-1.32	-0.19	1,760	0.17	-0.11
合計	102,357	-1.16	-0.10	40,160	0.26	0.00

(資料出所：柏崎市、各市町村)

○地域全体の人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲983人(▲1.11%)、刈羽村で▲24人(▲0.50%)、小国地区(長岡市)で▲141人(▲2.44%)、出雲崎町で▲63人(▲1.32%)、全体で▲1,211人(▲1.16%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲101人(▲0.11%)、刈羽村で+3人(+0.06%)、小国地区で▲3人(▲0.05%)、出雲崎町で▲9人(▲0.19%)、全体で▲110人(▲0.10%)となっている。

○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+104世帯(+0.30%)、刈羽村で+6世帯(+0.38%)、小国地区で▲5世帯(▲0.23%)、出雲崎町で+3世帯(+0.17%)、全体で+108世帯(+0.26%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲9世帯(▲0.02%)、刈羽村で+4世帯(+0.25%)、小国地区(長岡市)で+4世帯(+0.19%)、出雲崎町で▲2世帯(▲0.11%)、全体で▲3世帯となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,716		13.04		0.76	
月間有効求職者	1,285		-8.08		-4.31	
月間有効求人倍率	1.34	1.22	0.25*	0.03*	0.07*	0.02*

*印は差し引き計算

(資料出所：柏崎公共職業安定所)

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況(パートを含む全数)で、月間有効求人数が1,716人で、前年同月比+198人(+13.04%)となっている。前月比+13人(+0.76%)となっている。

月間有効求職者数は、1,285人で、前年同月比▲113人(▲8.08%)、前月比▲58人(▲4.31%)といずれも減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.34倍と前年同月比+0.25倍、前月比+0.07倍と改善傾向にあり、県平均1.22倍と比べると前年同月比+0.03倍となっている。

また、新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が635人と前年同月比+99人(+18.5%)、月間新規求職者数が328人と前年同月比▲29人(▲8.1%)となった結果、月間新規求人倍率は1.94倍となり、前年同月の1.50倍と比べて0.44ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成27年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	11	-9	-9	226	-8
共 同 住 宅	1	-1	-3	11	-2
事 務 所	0	0	0	6	-5
作 業 所・工 場	0	-1	-1	9	5
営 業 建 物	1	0	1	9	-8
公 共 建 物	0	0	0	1	-1
そ の 他	6	-1	2	68	-14
合 計	19	-12	-10	330	-33

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、19件(前年同月比▲12件)。工種別内訳の増減(前年同月比)は、一般住宅(併用)で▲9件、共同住宅で▲1件、作業所・工場で▲1件、その他で▲1件となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が17件、一般住宅(併用)11件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が5件(新築4件・増築1件)、市外施工業者が6件(新築6件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	67,054	1.23	0.06	20,206	-6.53	24.19
電 力	9,608	-2.29	1.70	36,948	-3.45	3.31

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比+816口(+1.23%)と増加し、前月比でも+46口(+0.06%)と増加している。電力においては、前年同月比▲226口(▲2.29%)と減少しているが、前月比は+161口(+1.70%)と増加している。

使用量は、電灯が前年同月比▲1,412千kwh(▲6.53%)と減少しているが、前月比は+3,937千kwh(+24.19%)と増加している。電力においては、前年同月比▲1,322千kwh(▲3.45%)と減少しているが、前月比は+1,186千kwh(+3.31%)と増加している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,147,921	-8.17	22.70	659,366	-0.75	-3.72
営 業 用	251,541	-8.34	32.38	112,843	3.21	-4.36
工 業 用	731,588	-11.08	0.29	102,984	-4.84	-7.57
官 公 学 校 用	459,999	-21.28	56.38	68,310	-1.91	-4.03
そ の 他				65	47.72	132.14
合 計	2,591,049	-11.62	20.56	943,568	-0.84	-4.25

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比▲340,681m³(▲11.62%)、前月比+441,997m³(+20.56%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比は全ての用途で減少している。前月比では全ての用途で増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比▲8,056m³(▲0.84%)、前月比▲41,958m³(▲4.25%)となっている。用途別内訳は、前年同月比では、営業用・その他で増加し、家庭用・工業用・官公学校用で減少している。前月比では全ての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	77,520	2.37	-3.30	79,422	2.29	-3.91
西 山	34,937	3.52	-10.13	32,201	6.96	-8.20
米 山	16,076	15.21	-16.37	15,251	11.22	-15.68
合 計	128,533	4.14	-7.04	126,874	4.46	-6.58

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比+5,113台(+4.14%)と増加し、前月比は▲9,738台(▲7.04%)と減少している。

出口は、全体で前年同月比+5,417台(+4.46%)と増加し、前月比は▲8,948台(▲6.58%)と減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
1 2 月 末	386,647	2.32	1.86	149,825	2.17	1.60
1 2 月 平 均	383,688	2.31	0.59	148,108	1.93	0.64

預金は、12月末残高が前年同月比+8,769百万円(+2.32%)と増加し、前月比は+7,078百万円(+1.86%)といずれも増加している。平均残高についても、前年同月比+8,678百万円(+2.31%)、前月比+2,258百万円(+0.59%)といずれも増加している。

貸出金は、12月末残高が前年同月比で+3,195百万円(+2.17%)と増加し、前月比でも+2,367百万円(+1.60%)といずれも増加している。平均残高についても、前年同月比+2,812百万円(+1.93%)、前月比+952百万円(+0.64%)といずれも増加している。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	22,044	-16.83	-8.61
交 換 金 額	14,683	-25.11	-28.18
不 渡 り 手 形 枚 数	13	333.33	-23.52
不 渡 り 手 形 金 額	16	579.85	32.74

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比▲4,461枚(▲16.83%)、前月比▲2,078枚(▲8.61%)、また、交換金額は、前年同月比▲4,924百万円(▲25.11%)、前月比▲5,761百万円(▲28.18%)となっている。なお、不渡手形は13件・16百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、4件(前年同月2件・前月3件)、負債総額6.8億円(同11.8億円・同4億円)となっている。地区別では下越地区で4件(新潟市2件・燕市1件・佐渡市1件)発生している。業種別では建設業・卸売業・小売業・その他でそれぞれ1件発生しており、倒産原因の状況は販売不振3件・その他1件となっている。

2015年の企業の景況感は3月をピークに緩やかに悪化を続け、9月以降は横ばい傾向で推移し、日本全体の景気が膠着状態となっている。政府は、アベノミクスが成果をあげ、日本経済が自律的な高循環を達成するためにも、経済を第一とした政策を実行する重要性が一段と高まっている。